

タイトル：平成 22 年度米価下落緊急経営支援資金の創設

JA 名：JAバンク佐賀

| | |
|--------------|---|
| 1 動機 (経緯) | 21 年度産米は政府の需要見通しを上回る米消費の減少や、契約・販売進度の大幅な遅れなどから持ち越し在庫となっています。 また、22 年度産米についても、過剰作付けの状況による需給ギャップ懸念や、相対取引価格が 21 年度産米対比で大きく下落する状況であったことから、JAグループ佐賀では稲作農家への支援策として JA 並びに連合会[信連・JA さが(経済連)・全共連佐賀]が利子補給を行う、『平成 22 年度米価下落緊急経営支援資金』を創設し、農家の経営安定支援を図りました。 |
| 2 概要 | 資金用途：農業経営の維持に必要な経費 取扱期間：平成 22 年 11 月 29 日～平成 23 年 3 月 31 日 基準金利：1.20%【債務者負担 0.5%、JA 利子補給 0.2%、連合会 0.5%】 償還期間：1 年以内 貸付限度：米 60kg あたり 2 千円とし、出荷契約数量または農産物検査法に基づく検査数量をもとに算出した金額 担保・保証：徴しない 必要により農業信用基金協会の債務保証を徴する |
| 3 成果 (効果) | 平成 23 年 3 月末実績 件数：5 残高：1.6 百万円 |
| 4 今後の予定(課題) | 23 年度産米の価格動向等を注視し、適切な対応を図っていく必要があります。 |